

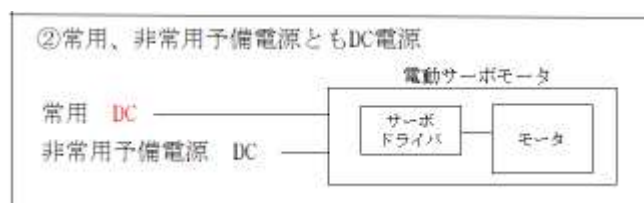
## 電気協同研究第7 2 卷第 1 号「水力発電所付属設備の設計指針」正誤表

### 1. 第 6-3-2 図 電動サーボモータ駆動電源の種類・・・P36

(誤)



(正)



### 2. 6-3-2 電動入口弁 (4) 電源・・・P39

(誤) なお、非常用電源の簡素化を目的とし、入口弁に非常閉鎖用の重錘が設置されている場合、

(正) なお、非常用電源の簡素化を目的とし、入口弁に非常閉鎖用の重錘が設置されている場合、

### 3. 13-3-2 システム要項 (1) 容量・・・P79

(誤)  $n$  : 速度の関数で表された加速トルク (p. u.)

$T (n)$  : 時刻  $t$  における回転速度 (p. u.)

(正)  $n$  : 時刻  $t$  における回転速度 (p. u.)

$T (n)$  : 速度の関数で表された加速トルク (p. u.)

#### 4. 第13-2-1表 各始動方式の適用実績・・・P78

(誤)

■: 採用期間    □: 保守期間

始動方式	1930	40	50	60	70	80	90	2000	10	20	国内通用プラント
タンデム始動方式	[採用] 1930-50, [保守] 50-2000										池尻川(34)-(88), 沼沢沼(52)-(02), 鎌塚(81)-(08)
別置き式	[採用] 1930-40, [保守] 40-70										小口川第三(34)-(78)
制動巻線始動方式	[採用] 50-80, [保守] 80-2000										大森川(58), 畑塚第一(62), 矢木沢(84), 池原(84), 三尾(84), 穴内川(84), 城山(85), 長野(88), 新成羽川(88), 藤平(88), 高根第一(88), 新冠(74), 高瀬川第一(78), 奥矢作第一(80), 高見#1(83)
同期始動方式	[採用] 70-2000										水殿(89), 安曇(89), 新豊根(72), 新高瀬川(78), 第二沼沢(81), 玉原(82), 俣野川(86), 天山(86), 今市(88), 大河内(82), 沼原#2(82), 塩原(84), 奥美濃(84), 奥多々良木(88), 葛野川(88), 神流川(06), 小丸川(07), 京極(14)
直結電動機始動方式	[採用] 70-2000, [保守] 2000-10										喜瀬山(70), 新豊根(72), 沼原(78), 奥多々良木(74), 大平(75), 南原(78), 奥清津(78), 新高瀬川(78), 奥矢作第二(80), 奥清津第二#1(86)
サイリスタ始動方式	[採用] 70-2000										奥吉野(78), 第二沼沢(81), 玉原(82), 本川(82), 俣野川(86), 天山(88), 今市(88), 下郷(88), 大河内(82), 塩原(84), 奥美濃(84), 奥多々良木(88), 葛野川(88), 神流川(06), 小丸川(07), 京極(14)
自己始動方式	[採用] 90-2000										矢木沢#2(80), 高見#2(83), 塩原#3(85), 奥清津第二#2(86), やんばる(88)

(正)

■: 採用期間    □: 保守期間

始動方式	1930	40	50	60	70	80	90	2000	10	20	国内通用プラント ( ) : 運用年
タンデム始動方式	[採用] 1930-50, [保守] 50-2000										池尻川(34)-(88), 沼沢沼(52)-(02), 鎌塚(81)-(08)
別置き式	[採用] 1930-40, [保守] 40-70										小口川第三(34)-(78)
制動巻線始動方式	[採用] 50-80, [保守] 80-2000										大森川(58), 畑塚第一(62), 矢木沢(87), 池原(84), 三尾(84), 穴内川(84), 城山(85), 長野(88), 新成羽川(88), 藤平(88), 高根第一(88), 新冠(74), 高瀬川第一(76), 奥矢作第一(80), 高見#1(83)
同期始動方式	[採用] 70-2000										水殿(70), 安曇(70), 新豊根(72), 新高瀬川(81), 第二沼沢(81), 玉原(80), 俣野川(86), 天山(88), 今市(81), 大河内(82), 沼原#2(82), 塩原(84), 奥美濃(84), 奥多々良木(88), 葛野川(14), 神流川(12), 小丸川(07), 京極(15)
直結電動機始動方式	[採用] 70-2000, [保守] 2000-10										喜瀬山(70), 新豊根(72), 沼原(78), 奥多々良木(74), 大平(75), 南原(78), 奥清津(78), 新高瀬川(78), 奥矢作第二(80), 奥清津第二#1(86)
サイリスタ始動方式	[採用] 70-2000										奥吉野(78), 第二沼沢(81), 玉原(80), 本川(82), 俣野川(86), 天山(88), 今市(81), 下郷(88), 大河内(82), 塩原(85), 奥美濃(84), 奥多々良木(88), 葛野川(14), 神流川(12), 小丸川(07), 京極(15)
自己始動方式	[採用] 90-2000										矢木沢#2(80), 高見#2(83), 塩原#3(85), 奥清津第二#2(86), やんばる(88)

5. 第2-4-3表 バイパス弁の漏水量・・・P16

(R03.12.22 追記)

(誤)

バイパス弁形式	漏水量 $Q_v$ (m <sup>3</sup> /s)
ニードル弁	$\frac{H_0 D_v}{150} \times 10^{-6}$
仕切弁 (スルース弁)	$\frac{H_0 D_v}{3} \times 10^{-6}$

$H_0$ :最大静水圧 (m),  $D_v$ :入口弁径 (m)

(正)

バイパス弁形式	漏水量 $Q_v$ (m <sup>3</sup> /s)
ニードル弁	$\frac{H_0 D_v}{150} \times 10^{-6}$
仕切弁 (スルース弁)	$\frac{H_0 D_v}{3} \times 10^{-6}$

$H_0$ :最大静水圧 (m),  $D_v$ :バイパス弁の口径 (m)

以上